



Miquiさん (32歳・綾)

6歳から本格的に、スペインの民族舞踊であるフラメンコを始める。18歳の時にスペインに渡り、スペイン三大フラメンコ女王の一人と称されるエバ・ジェルバブエナの踊りに衝撃を受け、氏の舞踊団の第一踊手、メルセデス・デ・コルドバに師事。

平成19年に「Familia Miqui Flamenco」を立ち上げて活動。衣装は生地選びからこだわり、さきらでの発表会も開催するなど、フラメンコの魅力を発信し続けている。

■フラメンコを始めたきっかけは？

伯母がフラメンコをしていました。母のお腹にいた頃から胎教のような形でリズムを聞いていたと思います。身近にあったフラメンコへの思いが高まり、6歳から伯母が習っていた京都の教室と一緒に通いはじめました。周りはすべて大人でしたが、小さな頃から「おっく楽し」と言っていたそうです。週3回程通い、17歳まで技術を磨きました。

■本場スペインでも学ばれました

18歳でスペインに留学したことが転機になりました。それまで、フラメンコを難しいと思ったことは一度もなかったのですが、スペインの「タブラオ」と呼ばれるステージで

観た踊りに衝撃を受けました。リズムのつかみや体の使い方などが見てきたものとかげ離れて素晴らしいもので、圧倒されました。こつこつと日本に帰国してからやり直しました。動画を見たり、東洋と西洋の体の違いについての本を読んだり、さきらで練習を重ねました。スペインのフラメンコにより近づくため、ひたむきに約10年、研究と努力を重ねました。

■楽しさはどこにありますか？

フラメンコは、歌・ギター・踊りが三位一体のもので、決して踊りが中心ではありません。自分の魂とつながり、感じるものを表現する喜びがあります。また、気心が知れたメンバーと、その場所で

創り上げる楽しさがあります。インドの横笛「 Bansuri 」やオペラとあわせたこともあります。

■今後の夢を教えてください。

スペイン人の先生が来日公演で立っていた憧れの舞台上で自分も踊ることができたことが一番心に残っています。夢は、世界で通用するフラメンコダンサーになること。これは、小さい頃から変わっていません。年齢を重ねながら表現の幅を広げていきたいです。



さきらアトリウムコンサートでの熱いステージ。ピアノとは初めての共演。14ページもあわせてご覧ください。

創業 35年 まごころこめてお手伝い

滋賀ペット葬儀社



栗東セレモニーホール 年中無休

お迎え・個別火葬・納骨供養

日本ペットランド 栗東市坊袋207-1

077-554-5515

やせたい!!

中年太りをなんとかしたい

そんなあなたに
筋トレ★

いつでも 無料体験 できます

☎077-599-1188

平日 10:00~19:00 (13:00~15:00は予約)
土曜日 10:00~13:00 日休



タニタの健康体操教室
フィットミー・エルティ草津店

広告欄

有料広告掲載のお申込み・お問合せは 広報課 ☎551-0641 ☎554-1123へ(掲載料金:本文最終ページ:1枠30,000円) 掲載内容のお問合せは、直接広告主へ。内容に関する一切の責任は広告主に帰属し、市が推奨するものではありません。



人口(2月1日現在) 人口68,898人 男34,383人 女34,515人 前月より36人増 世帯数27,265世帯

この広報紙は、古紙配合の再生紙とベジタブルインクを使用しています。